

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2017.02.No234

2月号

目次

平成28年度東西アスファルト 事業協同組合の助成金により 10事業を実施！……………	1
実行委員会報告……………	3
青年・女性の怒……………	6
[No.80 HOKKAIDO 建築士会 女性委員会]	
Coffee Break……………	7
information……………	8

URL <http://www.h-ab.com/>

平成28年度東西アスファルト事業協同組合の 助成金により10事業を実施！

【経緯・経過】

東西アスファルト事業協同組合では、平成26年から事業エリアごとの広告宣伝事業活動を展開し、そのエリアの風土や地区性を踏まえた、地区の主体性をもった活動を推進されています。初年度の平成26年度は「さっぽろ雪まつり」等の道内のイベント関連に企業協賛として活動されていますが、一方で専門業者団体として目指すべき姿と立ち位置、北海道への地域貢献という部分での活動も検討されていた中、函館支部青年委員会主催「木で遊ぼう！マイはし作り体験」のイベントを耳にされ、このイベントに企業協賛並びにご参加されました。

その中で、はし作りを通じて地域の方々と触れ合い、子ども達にモノづくりの楽しさを伝えている建築士の姿が大変印象的とのことで、団体として目指している地域貢献、また地域貢献以外の面でも、建築士会活動へ協賛・支援することにより、本会の発展、ひいては建築業界への貢献に繋がるものと考えられ、平成27年度に引き続き平成28年度におきましても、本会事業に200万円の助成金を拠出いただくのご提案をいただきました。このご提案のもと、平成28年6月27日(月)に正副会長、専務・常務理事及び各実行委員長による会議を開催し、7つの委員会より助成対象となる事業が提案され、10事業を実施することになりました。

□助成対象事業は、下記の10事業です。

委員会名	実施事業名	助成金額
情報委員会	「北海道建築士」の発行 ～全号カラー印刷化	140,000円
まちづくり委員会	景観まちづくり塾 ～まちなみ景観ウォッチング～	180,000円
青年委員会	建築士のお仕事体験イベント ～7月1日は建築士の日～	80,000円
	「木で遊ぼう！マイはし作り体験」 in 函館 (青年道南ブロック協議会)	100,000円
	「木で遊ぼう！マイはし作り体験」 in 大野小学校 (青年道南ブロック協議会)	100,000円
	建築のお仕事体験イベント in 苫小牧 (青年道南ブロック協議会)	85,000円
女性委員会	建築士による家庭科住教育出張講座	825,000円
被災地応急支援特別委員会	支援活動や訓練用の資機材等購入、避難所運営 (HUG) の訓練	160,000円
会員増強特別委員会	一級、二級・木造建築士免許証明書交付式 (新建築士セミナーの実施ほか)	310,000円
ヘリテージマネージャー特別委員会	北海道建築士会HPにヘリテージマネージャー特別委員会の事業紹介掲載	20,000円

※次ページに各事業の概要を掲載します。

東西アスファルト事業協同組合助成事業の概要

青年委員会

- 建築士のお仕事体験イベントを道内2箇所で開催。
- ・建築のお仕事体験in新さっぽろ(参加者：1,141名)
- ・建築のお仕事体験in苫小牧(参加者：99名)



「ライブイベントの様子」



「会場全景」

- 「木で遊ぼう！マイはし作り」函館にて開催。
- ・(参加者：53名)



「作業風景」

会員増強特別委員会

- ・二級建築士試験合格者のセミナーと免許証明書交付式を平成29年1月実施予定
- ・一級建築士試験合格者のセミナーと免許証明書交付式を平成29年2月実施予定

女性委員会

会員が道内の高等学校へ出向き出張講座「“私らしい住まい”の設計」を開き、生徒たちに自分の生活スタイルにあわせ、一人暮らしをした場合をテーマに、間取りキットを使用し簡単な住まいの設計を通して住まいや暮らしへの関心を深めてもらい住意識の向上をはかった。

◆12月末実施状況：5校 11クラス 344名

まちづくり委員会

- 景観まちづくり塾～景観ウォッチングin札幌～を札幌にて開催。
- ・(参加者：30名)



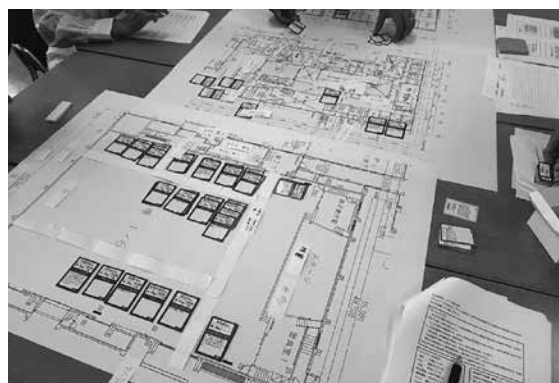
「ガイダンスの様子」



「まちあるきの様子」

被災地応急支援委員会

道がオリジナル版として作成した「Doハグ」のカードを用い避難所に見立てた市内の学校平面図に、様々な状況の避難者を配置して運営の訓練を行った。



「カードを用いて避難者の配置」



「真剣なまなごしの参加者たち」

総務委員会

士会活動の更なる
活性化を模索して

委員長

西岡 誠 (札幌支部)



建築士会会員の皆様、日々建築士会の活動にご理解とご協力を賜りましてありがとうございます。また、建築士会活性化と会員増強に向けたアンケートにご回答いただきました皆様、貴重なご意見をいただきまして大変ありがとうございました。アンケートでのご意見を基に、建築士会活動の更なる発展につなげていく方策を立てていきたいと思っておりますので、今後ともご協力のほど、よろしく願いいたします。

建築士会をご承知の通り、建築士としての個人の集まりによって成り立っている会です。一人一人では得ることが難しい建築士資格に関する情報や専門分野の情報を得る場として、また、同じ資格を持つ人々の集いの場として会があります。さらには建築士としての資格を通じて社会に貢献する場としてこの会はあると考えています。特に昨今の当建築士会は社会貢献につながる活動が活発で、これもひいては会員の皆様のご理解とご協力により行うことができるのだと感謝しております。

これらの活動は各実行委員会において行われていますが、総務委員会としましては、より広く会員の皆様のご参加とご協力をいただけるよう、建築士会全体の活動を俯瞰し、より皆様に寄り添った活動となるような新しい会の方向を模索することも役割だと考えております。

また平成31年に函館で開催されます全国大会北海道大会に向けて、総務委員会としての役割をはたしてまいりますので、ご協力のほどよろしく願いいたします。

事業委員会

新たな講習会の
スタート

委員長

伊藤 隆英 (恵庭支部)



早いもので事業委員長を引き受けてアツという間の一年が過ぎました。特にこの一年間は、永年続いてきた従来型の「建築技術講習会」の在り方について、当委員会の中で相当時間を費やして協議を行い課題の精査をし、総合的な判断として『廃止』することに致しました。なお、近年は建築関係団体等による、テーマを明確にした「講習会」が数多く開催されており、会員の方々が受講する機会も多く、従来型のテキストを作成して開催した「建築技術講習会」から、新たな時代のニーズに即した「講習会」を開催する方向で見直しをすることにしました。

その具体的な講習会として、既に行われた、日本建築士会連合会との共同主催による「建築士会インスペクター養成講座 (DVD講習)」や「基礎ぐいの設計・施工の要点と基礎ぐい工事監理ガイドラインの解説講習会 (DVD講習)」があります。また、新たに今年度から各実行委員会の活動に対して多額の協賛金を拠出して頂いている「東西アスファルト事業協同組合」との初！協賛による会員のための「技術セミナー」を開催することになっています。これらのことから「講習会」の方向性は、既に5支部では地域のニーズにあったそれぞれの講習会等を支部独自で開催しているなど、「本部」主体講習会と「支部」主体講習会との『すみ分け』をしていくこととなります。なお、本部主体「講習会」の開催情報などは、会誌「北海道建築士」に同梱致しますのでご参考なさってください。多くの会員の皆様のご受講をよろしくお願いいたします。

情報委員会

より読みやすく
士会活動の今を伝える

委員長

早川 陽子 (小樽支部)



情報委員長を引き受けて1年が過ぎました。委員会の昨年の目標は「次の号が楽しみになる紙面づくり」～タイムリー、話題性、息抜きができること～でした。

今、会誌を手に行っている皆様、いかがでしたか。一年間12冊全号を読みあげるの、なかなか大変なことだったと思います。

表紙の四季カラーが定着し、連載の釣り日誌は息抜きが出来るようイラストを入れ、委員会活動のいくつかは情報委員が自ら出向き、執筆することで、外の視点からの取材を試みました。

また、HPは入会を検討される方へのアピールとなるよう、現役の会員さんにも楽しんでもらえたら、と思い、支部紹介の充実に取り組み始めました。気軽に支部活動の様子を更新出来るよう工夫をしています。まだ途中ではありますが、支部の担当の皆様にはご協力をいただき、感謝いたします。

さて、今年の目標は、

より読みやすく

全号が片面カラー化 (8p中4p) カラーページを有効に使います。

士会活動の今を伝える

前年に引き続き情報委員による取材を充実させます。ニセコ大会は号外を発行予定です。また、会員作品展はデザイン、施工、運用面など建築のトレンドを紹介する良い機会、奮ってご応募ください。

今期も委員会メンバー、久島常務理事、事務局で力を合わせ、お手元に会誌をお届けいたします。

どうぞよろしくお願いいたします。

青年委員会 今年の目標



委員長
石塚 尚也 (恵庭支部)

昨年、私はこの場で青年委員会の活動のテーマとして「ひろげる・つなげる」というキーワードを記述しました。建築士・建築士会を一般の方々に知ってもらい、次世代を担う子ども達に建築やモノづくりの楽しさを伝える…というものです。昨年2016年は後者のテーマ(つなげる)については、①新さっぽろ お仕事体験イベント ②函館 マイはし作り ③苫小牧ドン・キホーテ お仕事体験イベント ④帯広 ホコ天木工づくり等の活動を通して、多くの子ども達に触れ合うことが出来たと思います。

今年は前者のテーマ「ひろげる」という部分に重点を置いて活動をしていきたいと考えています。他団体・行政・地域の方々と活動を共にし交流する、自分たちだけの活動から周りを巻き込んだ活動にひろげていく、これが今年目標です。

そして、「ふれあい」ということも重要視していきたいと思えます。色々な活動を行う際に、文章やSNS等のツールを利用することは、とても重要だと思えます。しかし、それと同じくらい「ヒトとヒトとのふれあい」ということを大切にしたいと考えるのです。

目を見ながら子ども達と触れ合う、顔を見ながら一般の人たちと話をし、そしてワイワイガヤガヤ仲間とお酒を呑む(笑)

とても便利な現代だからこそ、この部分を大切にしたいのです。



[元気ハツラツ!? 青年委員会! (連絡会議 懇親会にて)]

女性委員会 活動の輪を 広げよう



委員長
工藤美智子 (札幌支部)

女性委員長として、アツと言う間に1年が過ぎました。全道大会分科会、女性建築士の集い、全国女性建築士連絡協議会分科会、全国大会女性委員会セッションと多くの事業を無事終えることが出来たのは、現委員はじめ前委員、各支部会員の皆さまのおかげです。ありがとうございました。

又、広報HOKKAIDOには、支部事業の様子も掲載させていただき、道内各地で活動している女性会員の様子もお伝えできたのではないかと思います。女性社員が少数の会社も多いと思いますが、会員という目で見ると、多くの仲間が全道各地にいることを、紙面を通して知っていただく機会になればと考えています。そして『女性建築士の集い』にもご参加いただき、他支部の方とも交流を深め、充電したパワーを日々の仕事の糧にしていだければと思います。

『建築士による住教育出張講座』も建築士会全体の活動へと広がり、多くの会員の方々にセミナー受講や、地域の高校へ講師として入っていただくことが出来ました。全面協力をしてくださる支部もあり、本当に感謝しています。

今年度の全道大会分科会は、開催地である後志の地域性を考えながら企画していこうと考えています。ご参加をお待ちしています。

平成29年度は、さらに活動の輪を広げ、会員同士の仲間作りにとどまらず、他業種の方・一般の方へも建築士会の認知度アップにつながるよう努めたいと考えています。

皆さまのご協力、よろしく願いいたします。

まちづくり委員会 さらなる活動を!



委員長
針ヶ谷拓己 (札幌支部)

委員長を仰せつかり、早いもので1年が経過しました。有能な委員メンバーのもと、去年は例年行われている「まちづくりフォーラム」「全道大会B分科会」に加え、新たに「景観まちづくり塾」(東西アスファルト事業協同組合協賛)を開催することができました。各事業に、参加・協力・協賛いただきましたみなさまに、厚く御礼を申し上げます。



楽しくまちなみ視察する委員メンバー

“まちづくり”とは、景観・環境づくり、文化・歴史づくり、経済づくり、ひとづくりなど、とても広域な活動であります。任期後半となります今年、昨年関わることができなかった難易度の高い「経済づくり」という部分にもチャレンジすることができればと考えておまして、他団体との連携も含めながら地域の活性化に貢献できるよう努めていきたいと存じます。

最後に・・・準備中でありましたまちづくり委員会のホームページを間もなく公開いたします。各支部で行われているまちづくり活動(地域貢献活動)もホームページに公開し、建築士会としての活動のPRができればと考えておりますので、各支部のみなさま、ご協力よろしく願いいたします。

地域貢献活動センター委員会 助成金で地域貢献 活動しよう！

委員長

本間 恵美（小樽支部）



地域貢献活動センター委員長となり1年が過ぎました。今年もどうぞよろしくをお願いします。

昨年の助成は札幌支部会員が参加している「札幌ハルニレプロジェクト」1件のみでした。ここ数年は助成の応募が少なく、さびしい結果となっています。会員の皆様の中で、地域の方々と活動している。もしくは、これから活動したいが活動費が足りない。という方がいましたら是非応募してください。ホームページで過去に助成した活動を見ることができますので、応募の参考にしてください。

地域貢献活動センターとは？

地域社会の発展に寄与する目的で建築士会会員が参画する地域貢献活動を支援し、その活動費を補助します。

対象事業は？

次の9つのテーマに沿う事業です。

- 1 歴史的資産の保全・再生・活用
- 2 景観の保全・再生
- 3 居住空間の保全・整備
- 4 自然環境の保全・整備
- 5 福祉環境整備
- 6 防災活動や防災施設の整備
- 7 子どもの住教育やまちづくり教育
- 8 建築やまちづくりによる地域活性化
- 9 その他、活動センターが地域貢献活動と認めるもの

参画する建築士の人数は？

継続して3年以上の会員2名以上の参画が必要です。

募集の期間は？

1月～9月末までです。

助成の金額は？

一件の限度額 20万円までです。
(但し、予算の範囲内で審査委員会が決定した額)

ヘリテージマネージャー特別委員会 4年目の活動

委員長

関川 修司（北広島支部）



“地域資産を地域で守り、地域会員が活かす”ヘリテージマネージャー特別委員会、4年目を迎えます。

地域資産をどう守るか、育てるかの講座を開いています。平成26年度からヘリテージマネージャー・ヘリテージコーディネーター養成講座でそれぞれ78名、37名が受講し、それぞれの地域で活躍しています。

今後の課題は三つ。一つ目は、講座で培った実力の発揮する場がないこと。昨年度の全国大会で、次のことが採択されました。「登録文化財の設計管理業務の設計者をヘリテージマネージャーであれば、その業務ができるように文化庁に要望する、このために建築士会内にヘリテージマネージャーの技術指導が可能な体制を整える」、そして「建築基準法適用除外にかかる実施体制の整備を行う」こと。これには、少し時間が必要であるが、大きな光明です。

二つ目には、受講生の負担軽減。集中講義による受講日数の短縮、事務局側が各地へ出向く等々の新たな負担軽減策を考え、行っています。

三つ目については、他委員会との連携です。でき得れば、二つ目と絡めて、対応を考えたい。

道内には、まだまだ知られていない地域資産が眠っています。全道の会員にお手数を掛けた太子講調査もその一つです。職能集団の素晴らしい太子祭、同じ数の太子堂が数多く残っています。築百年を超えるお堂もあります。

地域の士会員が眠れる有形無形の地域資産で生かされるよう、ほんの少し、活動してみませんか。

被災地応急支援委員会 行政との連携した 取組について

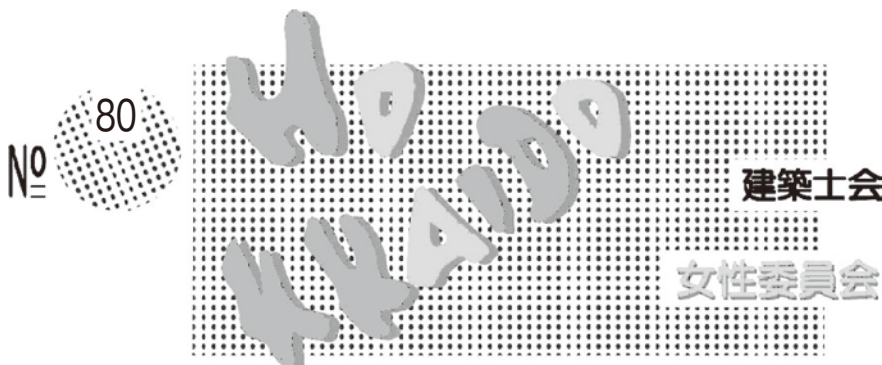
委員

三坂 和靖（北見支部）



平成28年4月に発生した熊本地震には、民間判定士として北海道建築士会からも2名の応急危険度判定士を派遣したところであります。近年は、東北地方太平洋沖地震を始め、多くの地震が不規則に発生し、多くの建築物に被害を与えているものと捉えております。これに伴い、被災地応急支援委員会では、平成28年11月11日に、北見市において、行政と連携した初の応急危険度判定の机上訓練を実施し、多く判定士に参加して頂きました。この取組は、北海道が主催する応急危険度判定認定講習に北海道震災建築物応急危険度判定オホーツク地区協議会の会員である建築士会として、行政と連携した取組を行えないかと北海道及び、北見市と協議を重ね、本部被災地応急支援委員会と士会北見支部の連携のもと開催した机上訓練となりました。

今回のように、講習会と連動した机上訓練を地元の建築士会主導で行うことによって、建築士の社会的有用性と信頼を積み重ね、建築士会の認知度を上げることにより、会員の増強にも繋がり、そこから、応急危険度判定士の増強にもなると考えております。また、今回の行政と連携した取組について、今後も継続して行ない、北海道又は、道外における判定活動にも、建築士会として貢献して行きたいと思っております。



『全国大会に参加して』

連合会女性委員会委員 新海 直美

平成28年10月22日、第59回建築士会全国大会「大分大会」が大分県別府市で開催されました。全国大会は始めてだったのですが、本年より連合会の委員を務めることとなった為、交流セッションの担当もすることとなり、初めて尽くしの参加となりました。

交流セッションの準備もあり、20日の夜から別府入り。21日の午前中に時間があつた為、別府市内の工芸品や雑貨を扱うお店をいくつか回りました。目についたのが別府竹細工。つやつやとして節のない美しい佇まいが素敵で、少し手元に置きたいなど、小さなものをいくつか購入しました。お昼には大分名物の「とり天」を。温泉地獄巡りまではできませんでしたが、別府の雰囲気を楽しみました。

午後にはセッションの準備、委員会と忙しくし、夜は全国から集まった女性委員メンバーと交流会。気候・風土が違うと捉え方や生じる問題が違ってきたりして、そんな話はとても勉強になり、でも、同じ悩みを抱えている話を聞くと何だか安心したり。元気を頂



女性委員会セッション「和室についての報告」

く時間となりました。

22日は10時から交流セッションです。女性委員会は「和室についての報告」です。最初に全国女性建築士連絡協議会奈良大会での報告。その後のパネルディスカッションでは3名のパネラーより、伝統的和室、地域性を活かした砺波の散居村の住まい、モダンな和室の可能性が紹介され、次世代に引き継ぐ和の魅力について語られました。ちなみに、私は司会の担当でしたが、無事に終了することができてほっとしました。

午後からは、大分焼酎「いいちこ」の醸造元、三和酒造(株)の西太一郎さんと、アートディレクター河北秀也さんの記念講演も面白く、その後に式典、夜には大交流会と盛りだくさんでしたが、私は夜のうちに福岡入りせねばならず、大交流会の途中で会場を後にしました。23日には地域交流見学会(エクスカーション)も用意されており、大分を満喫できるプログラムとなっていたのですが、残念ながら今回は見送りです。それでも、大分の魅力を感じることができ、今度はゆっくり行ってみたいと思いました。北海道とは違う土地を知れるという点でも全国大会は有意義かなと感じました。



大会式典の様子

平面から立体へ
札幌国際情報高校理数学科実習
巧 直子 (札幌支部)

札幌国際情報高校理数科の授業は2年目を迎えた。生徒に建築という分野を知ってほしいという学校側からの要望で始まったこの実習は、昨年は1年生の授業で住教育の間取りキットを使った平面計画を行ったが、進級した2年生では「平面から立体へ」を目的として模型製作を行う事になった。平面は各自が1年生で計画したものを縮尺1/50に拡大してスチレンボードで作るという内容。企画当初、講師達は模型を実際作ってみたのだが、予定時間内に完成できず、時間配分、材料選定などの準備にはかなりの検討と時間を要した。そうして迎えた当日、思わぬ事が起きた。持参する事になっていたカッターを半数の生徒が忘れたのである！何とかカッターをかき集め、何とか全員が模型作成に入れたが、既に時間のロスが生じた。果たして時間内に作れるのか…。ところが結果は予想を上回るものだった。全員が外壁・間仕切壁を立ち上げ、独創的な家具や内装を作った生徒も多数いたのである。結果として怪我などのアクシデントもなく無事実習を終える事ができた。



模型制作中の生徒たち

その後担任の山本先生のお話や生徒のアンケートでも「楽しかった」というコメントを多数頂いた。しかし、それに止まらず「立体から平面へフィードバックして全体を考える」を目標としたい。先日今年の1年生の実習も終了し、またユニークな作品が見られた。来年度以降も継続すると思われるこの実習の展開が楽しみである。

北空知支部 現在の支部活動状況について



支部長
川口 弘

平成25年に支部長を引き受け2期4年が過ぎ、今年平成29年は支部役員改選期となります。この会誌が発行されている頃には新しい支部役員が選出されていると思います。

支部長として4年間活動をさせていただきましたが、当支部の現状を少し述べたいと思います。当支部も今年60周年を迎えますが、現在会員が67名と、会員は減少傾向にあります。過去には数多く行事等を行っていましたが、会員の減少と共に縮小してきた経緯があり、現在の活動としては毎年、深川の祭りの日に合わせて、地域の皆様と会員の交流を深

める為ビールパーティを開催、そして地域の建築施設の見学・会員の研修と行っております。

今年は北空知支部創立60周年の年と述べました。大きな行事は行えませんが、支部内の会員の親睦・交流を深める事を重点にして60年を祝いたいと思っております。又、先に今年支部役員改選時期と申しましたが、青年層の新しい会員の入会が少なく会員の年代層が上がってきているのが、どの支部も共通していると思われます。

当支部もその中で徐々にではありますが、役員の若返りを行えればと考えております。平成30年には全道大会が同じ道北ブロックでの開催であり、又、平成31年には全国大会が函館で開催されるという事で、当支部もお手伝いそして、積極的に参加をしていきたいと考えております。

美幌支部 支部長就任から1年たって



支部長
伊藤慶三郎

平成28年より前増田支部長の後任として支部長に就任し、あっという間に1年がたちました。

新たに本部事業である支部長・支部事務局長合同会議や道東ブロック協議会への参加、また支部事業では毎年恒例の絵馬の製作やふれあい広場びほろでのペーパークラフト教室の開催などを行って、一般の人へ少しでもアピールが出来ればと続けております。

美幌支部は、美幌町・津別町・大空町の3町の会員からなっており、現在の会員数は52名ですが、事業活動への参加となると10名にも満たないのが現状です。

各支部でも高齢化や建築関係への従事者が少ない

ことから、会員の減少が問題となっていると聞きますが、当支部でも同じ状況が続いています。しかし、会員の増加はかなり難しく、まずは現状を維持しつつ、事業活動への会員の参加を少しでも増やすことから始めていきたいと思っています。

それにはまず、会員も様々な職種や年齢等立場が違いますので、活動内容や時期等を検討して、なるべく多くの会員が参加しやすい事業にしていくことだと思います。

また、毎年行ってきた事業はこれから先も継続していくことが大切なことだと思います。“継続は力なり”とよく言われますが、単に継続だけではなく、少しずつでも変化をさせながら前へ進めて行くことを心掛けながら、仲間の輪を広げていければ事業活動も充実していくのではないのでしょうか。

笠原爺ィの釣り日誌 ～DNAと背後霊「魚釣り八十八か所」の巻～ 10-1



離島、礼文と利尻の礼所の位置

1 番札所、礼文島・船泊港

香深でフェリー降りたのは、まだ2時、「ヨシ、これから魚の夕食時だッ」と急いで北へ20分、予約した船泊の宿の玄関で「釣り場はドコォ?」と大声。「ア、初めてなら、私、連れてってヤルッ」。

親切女将さんの車を、追っかけた「アソコ!」。簡単、明瞭、案内完了。船泊漁港の、陸からスグの岸壁で、20人程が、釣っていた。恐る恐る近づいて「釣れてますか?」と聞いたら「まあまあだ」。側に、鮭が2匹、転がってた。「私、初めてなんです、横へ入っても良いですか?」。「ああ、良いヨ」。竿、繋ぐのも初めて、糸、結ぶのも初めて、仕掛けはコウか?、とオタオタ。やり直しバツカリで時間掛かった。横目で見てたソノ人「アンタ、どこから来たのサ」「札幌」「へェ、札幌～オ!」。爺ィ、やっと竿出したが、浮きは、ピクともしない。(折角、ニンニクの餌付けたのにイ!)(ココの魚、ニンニクの臭い、嫌いなのか?) (ヤッパリ、餌屋に騙されたカナ!)

家を出る時、息子に言われた事、思い出した。

「父さん、魚釣りって難しいんだヨ。魚だって賢い、初めての人に、釣れる訳無いよ!」。

そしてカアちゃんが云った事。

「アンタ海に落ちたらドーすんの、死んじゃうよ、ヤメてェ～」追加が有った。

「死んだって、そんなもの、引き取りに行かないからねッ」。(アター!)

つづく

CPD認定プログラム(1月認定)

- ◆**防水技術セミナー2017 in 札幌**
 〈日程及び会場〉 3月29日(水) 14:00~17:00
 北海道職業能力開発支援センター (札幌市)
 〈単位数〉 3単位
 〈問合せ先〉 田島ルーフィング株式会社
 Tel. 011-221-4014
- ◆**札幌市景観条例セミナー**
「景観計画区域での届出とそのポイント」
 〈日程及び会場〉 2月1日(水) 19:00~21:00
 かでる2・7 (札幌市)
 〈単位数〉 2単位
 〈問合せ先〉 (一社)北海道建築士会札幌支部
 Tel. 011-232-1843
- ◆**ウレタン塗膜防水セミナー**
 〈日程及び会場〉 3月4日(土) 14:00~16:00
 ポリテクセンター北海道 (札幌市)
 〈単位数〉 2単位
 〈問合せ先〉 (一社)北海道建築士会札幌支部
 Tel. 011-232-1843

道士会の動き

道本部の主な会議報告 (1月)

- ◆**第1回 青年委員会**
 〈開催日〉 1月14日(土)
 〈議題〉 1) 平成28年事業報告・決算報告、平成29年事業計画・予算について
 2) 全道青年委員会連絡会議について
 3) 青年建築士の集い(苫小牧)について
 4) 全道大会青年サミット・分科会(後志大会)について
 5) 建築士(会)周知イベントについて
 6) ホームページの運営及びメンバーカルテについて
 7) その他
- ◆**第1回 まちづくり小委員会**
 〈開催日〉 1月28日(土)
 〈議題〉 1) 平成28年事業報告・決算報告、平成29年事業計画・予算について
 2) まちづくりフォーラムについて
 3) 高校生建築デザインコンクールについて
 4) 高校生「建築甲子園」について
 5) 景観整備機構について
 6) 全道大会(後志大会)分科会について
 7) 連合会まちづくり委員会について
 8) その他

関係機関等会議参加予定 (2月)

- 8日 北海道公共建築設計懇親会 高野会長出席
- 28日 建設系CPD協議会運営委員会 高野会長出席

道本部の主な行事予定 (2月)

- 〈開催日〉 18日(土) 一級免許交付式
- 25日(土) 第1回女性委員会
- 25日(土) 第1回まちづくり委員会

編集後記

東西アスファルト事業協同組合様からの助成のきっかけは、青年建築士と地域の方々との触れ合う姿が印象的だったから、とのこと。

みなさんも地域の様々な繋がりの中で、まちづくり等の活動をされていることと思います。そこでは、“喜んでくれる誰かのために”という思いで、汗水垂らして一生懸命に動き回っているみなさんの姿があるのではないのでしょうか？

周りから“これからも応援したい!”と思ってもらえるような活動を続けていきたいですね。

情報委員会 高松 徹 (上富良野支部)

平成29年

(一社)北海道建築士会会員作品の募集

みなさんの手がけた建築作品を広くアピールしてみませんか。応募作品のすべてを、本会ホームページに掲載します。また、その中から4点程度を選考し9月発刊「北海道建築士No241」に掲載します。多くの会員の応募をお待ちしています。

※応募要項など詳細は、3月発刊「北海道建築士No235」に掲載します。また北海道建築士会HP (<http://www.h-ab.com/>) では、第1回~5回の作品も見ることができます。

2月開催講習会のお知らせ

- ・**応急危険度判定士認定講習会**
 2月2日(木) 江差町
 2月6日(月) 苫小牧市
 2月9日(木) 札幌市
- ・**監理技術者講習**
 2月10日(金) 札幌市
- ・**定期講習**
 2月16日(木) 中標津町
 2月22日(水) 北見市
- ・**第50回建築基準法講習会**
 2月1日(水) 旭川市
 2月2日(木) 岩見沢市
 2月7日(火) 網走市
 2月9日(木) 倶知安町
 2月10日(金) 帯広市
 2月16日(木) 北斗市
 2月17日(金) 富良野市
 2月22日(水) 留萌市
- 2月1日(水) 根室市
 2月2日(木) 釧路市
 2月8日(水) 北見市
 2月10日(金) 小樽市
 2月14日(火) 江差町
 2月16日(木) 苫小牧市
 2月21日(火) 室蘭市
 2月23日(木) 稚内市

【国税広報参考資料】



確定申告に関するお問合せはお電話で！

~ご不明な点等はお電話で問い合わせることができます~

▶ 国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」の操作などに関するお問合せ

e-Tax・作成コーナーヘルプデスク 0570-01-5901

作成コーナーの操作方法などに関するご質問

▶月曜日~金曜日 9:00~17:00 (祝日等及び12月29日~1月3日を除きます。)

※お電話は、朝晩により混雑する場合があります。お問合せに当たっては、最新の情報をe-Taxホームページでご確認ください。上記の電話番号がご利用できない場合は、03-5638-5171をご利用ください(通常の通話料となります。)。混雑の電話が多くなっておりますので、くれぐれもお待たせいたします。

マイナンバー総合フリーダイヤル 0120-95-0178

マイナンバーカードをご利用になる場合のICカードリーダーの設定などに関するご質問

▶月曜日~金曜日 9:30~20:00 ▶土日祝日 9:30~17:30 (年末年始を除きます。)

※受付時間は、変更される場合がありますので、内閣府のホームページでご確認ください。上記の電話番号がご利用できない場合は、050-3818-1250へお問い合わせください(通常の通話料となります。)。

▶ 税務相談などに関するお問合せ

最寄りの税務署にお電話いただきますと、自動音声によりご案内しておりますので、相談内容に応じて該当の番号を選択してください。最寄りの税務署の電話番号は国税庁ホームページでご確認ください。

税に関する情報は国税庁ホームページへ www.nta.go.jp

情報委員会委員長/早川 陽子
 副委員長/斎藤 勝哉・高松 徹・森 勝利
 委員/熊谷 智・柳山美保子・鈴木 雅人
 柏倉 晶憲

北海道建築士 No.234号

印刷 平成29年1月/発行 平成29年2月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会
 〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
 大五ビル
 電話 (011) 251-6076番
 URL <http://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎
 〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目
 電話 (011) 811-7151番